

第87期中間報告書

平成22年4月1日～平成22年9月30日

北電



第87期 中間報告書

平成22年4月1日～平成22年9月30日

CONTENTS

目次

- 株主の皆さまへ 3
- 事業の概況 4
- 連結財務諸表 6
- ウラン燃料のリサイクル(プルサーマル)について... 8
- 北電トピックス 9
- 北陸電力グループの紹介 10
- 北陸の手仕事 ～創る人がいる～ 井波彫刻 12
- 株主information 14

■表紙

北陸の手仕事 ～創る人がいる～ 井波彫刻

江戸時代中期、京都から入ってきた寺院の彫刻技術によって始まった、富山県南砺市の伝統工芸・井波彫刻。その技術は大切に受け継がれ、彫刻師たちの革新と努力によって、現在では多方面で活かされています。

一人の職人が、時に荒々しく、時に精密に仕上げる作品は、まさに技の集大成。繊細に彫られた花はみずみずしく、表情豊かな小鳥は、楽しそうなさえずりが今にも聞こえてきそうです。



■井波彫刻

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜わり厚くお礼申し上げます。

当社グループは、本年3月に策定した「北陸電力グループ中期経営方針」のもと、皆さまから「信頼され選択される企業」を目指し、グループの総力を結集して、以下の4つの基本方針を柱に取り組んでおります。

- 1.「良質で環境にやさしい電気を安定的にお届けしていく」ための取組み
- 2.「エネルギーをより一層効率的にご利用いただく」ための取組み
- 3.「事業基盤を安定・強固にしていく」ための取組み
- 4.「地域の皆さまと共に当社グループが持続的に発展していく」ための取組み

こうしたなか、当社は、6月に、志賀原子力発電所1号機における「ウラン燃料のリサイクル(プルサーマル)」の実施について、協議の開始を石川県、志賀町に申し入れさせていただくとともに、「原子炉設置変更許可」を経済産業大臣に申請いたしました。

また、一層の電源多様化を図るとともに、更なるCO₂排出量削減により低炭素社会の実現に貢献するため、富山新港火力発電所石炭1号機をリプレースし、LNG(液化天然ガス)を燃料とするコンバインドサイクル発電を導入することといたしました。今後、地元の皆さまや関係各所のご理解とご協力をいただきながら、計画を進めてまいります。

今後とも、業務品質の向上に継続的に取り組み、将来にわたり電力を安定的にお届けするとともに、低炭素社会の実現や事業基盤の強化に向けた取組みを着実に進めることで、社会的な信頼を高め、皆さまと共に、持続的に成長・進化していく北陸電力グループを目指してまいります。

中間配当につきましては、安定配当継続の方針に基づき、1株につき25円とさせていただきます。

株主の皆さまにおかれましては、当社グループに対し、なお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年11月



取締役会長 永原 功 取締役社長 久和 進

事業の概況

収支の状況

当上半期の我が国経済は、雇用情勢等が厳しい状況にあります。生産活動が持ち直し、輸出がアジア向けを中心に業種の広がりを伴って緩やかに増加基調で推移いたしました。また、企業収益も低水準ながら改善に向かうなど、景気は緩やかに持ち直しております。北陸地域においても同様の状況で推移いたしました。

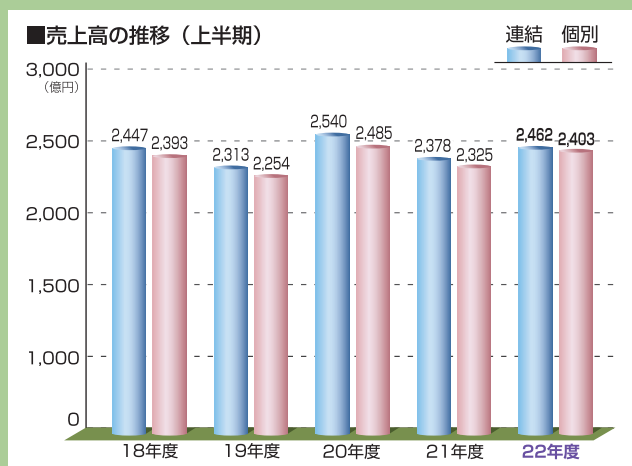
このような経済情勢のもと、当上半期の連結収支につきましては、収益面では、電気事業において販売電力量が増加したことなどから、売上高（営業収益）は2,462億円となり、これに営業外収益を

加えた経常収益は、前年同期に比べ87億円増の2,490億円となりました。

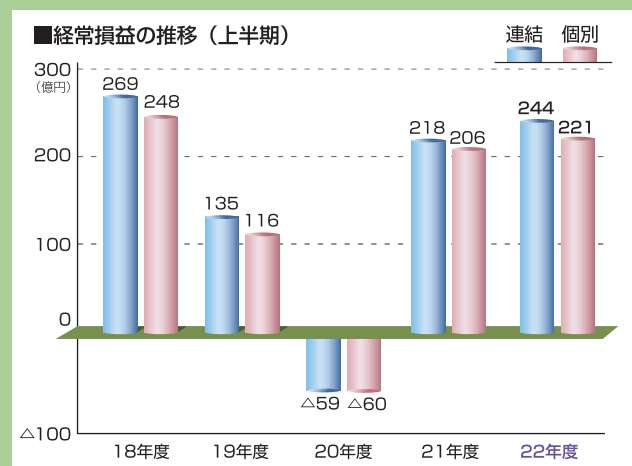
一方、費用面では、電気事業において修繕費や支払利息が増加したことなどから、経常費用は前年同期に比べ61億円増の2,245億円となりました。

以上により、当上半期の経常利益は244億円となりました。

また、純利益は、電気事業において資産除去債務会計基準の導入に伴う特別損失を23億円計上したことなどから、122億円となりました。



(注) 億円未満切捨



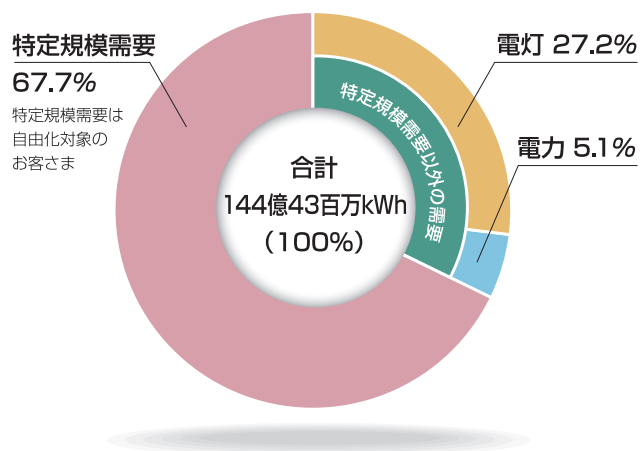
(注) 億円未満切捨

販売の状況

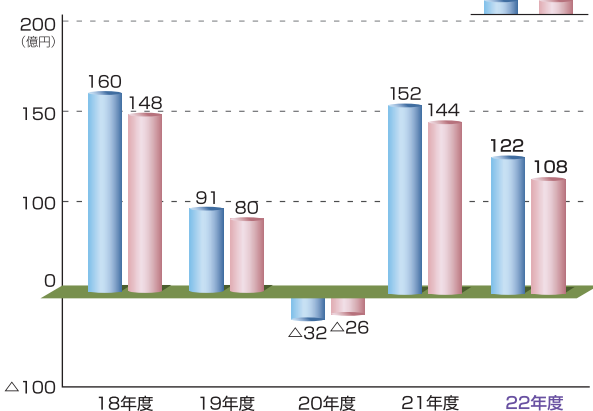
当上半期の販売電力量は、電灯および業務用は、記録的猛暑による冷房需要の増加などから前年同期を上回りました。産業用は、景気の持ち直しによる生産の増加などから、前年同期を上回りました。

この結果、販売電力量は144億43百万キロワット時（うち特定規模需要97億82百万キロワット時）となり、前年同期と比較すると12.3%の増加となりました。

■当上半期販売電力量の構成比

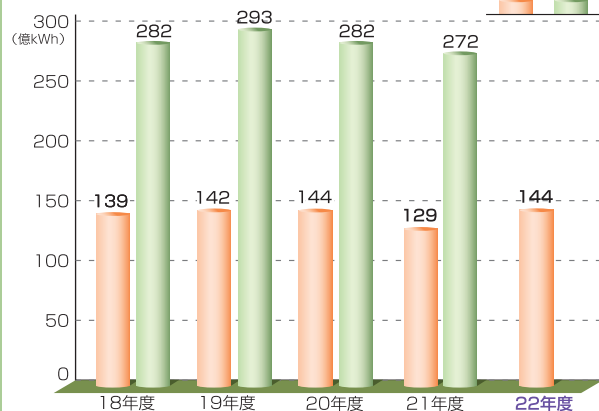


■純損益の推移（上半期）



(注) 億円未満四捨

■販売電力量の推移



(注) 億kWh未満四捨五入

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表の要旨

(単位：億円)

資 産 の 部			負 債 及 び 純 資 産 の 部		
科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年9月30日現在)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日現在)	科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年9月30日現在)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日現在)
固 定 資 産	12,490	12,087	固 定 負 債	8,231	8,584
電気事業固定資産	9,767	9,529	社 債	4,735	5,335
水力発電設備	1,199	1,114	長 期 借 入 金	2,104	2,286
汽力発電設備	1,289	1,316	流 動 負 債	1,896	1,905
原子力発電設備	2,596	2,349	1年以内に期限到来の固定負債	988	923
送 電 設 備	1,855	1,896	短 期 借 入 金	161	202
変 電 設 備	929	960	引 当 金	66	45
配 電 設 備	1,535	1,541	負 債 合 計	10,193	10,536
固定資産仮勘定	233	225	株 主 資 本	3,598	3,529
核 燃 料	885	820	資 本 金	1,176	1,176
投資その他の資産	1,290	1,186	資 本 剰 余 金	340	340
流 動 資 産	1,336	2,030	利 益 剰 余 金	2,232	2,163
現金及び預金	535	1,136	自 己 株 式	△151	△151
受取手形及び売掛金	425	369	評 価 ・ 換 算 差 額 等	34	52
たな卸資産	234	191	純 資 産 合 計	3,633	3,582
合 計	13,826	14,118	合 計	13,826	14,118

四半期連結損益計算書の要旨

(単位：億円)

費用の部			収益の部		
科目	当第2四半期 連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	科目	当第2四半期 連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)
営業費用	2,132	2,101	営業収益	2,462	2,378
電気事業営業費用	2,073	2,048	電気事業営業収益	2,391	2,315
その他事業営業費用	58	52	その他事業営業収益	70	63
営業利益	(329)	(277)	営業外収益	27	24
営業外費用	113	82	四半期経常収益合計	2,490	2,402
四半期経常費用合計	2,245	2,184			
四半期経常利益	244	218			
濁水準備金引当又は取崩し	20	△20			
特別損失	23	-			
税金等調整前四半期純利益	200	239			
法人税等	77	87			
少数株主損益調整前四半期純利益	122	-			
四半期純利益	122	152			

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：億円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	620	917
税金等調整前四半期純利益	200	239
減価償却費	439	460
投資活動によるキャッシュ・フロー	△418	△311
財務活動によるキャッシュ・フロー	△802	△578
社債・借入金等の純増減額	△749	△524
自己株式の取得・売却	△0	△0
配当金の支払額	△53	△53
現金及び現金同等物の増減額	△600	27
現金及び現金同等物の期首残高	1,136	968
現金及び現金同等物の四半期末残高	535	996

連結子会社（11社）

- 日本海発電（株）
 - 北電情報システムサービス（株）
 - 北陸発電工事（株）
 - （株）北陸電力リビングサービス
 - 北電テクノサービス（株）
 - 北電パートナーサービス（株）
 - 日本海コンクリート工業（株）
 - 日本海環境サービス（株）
 - 北陸通信ネットワーク（株）
 - 北電技術コンサルタント（株）
 - 北電産業（株）
- （平成22年9月30日現在）

持分法適用会社（2社）

- 北陸電気工事（株）
 - （株）ケーブルテレビ富山
- （平成22年9月30日現在）

ウラン燃料のリサイクル（プルサーマル）について

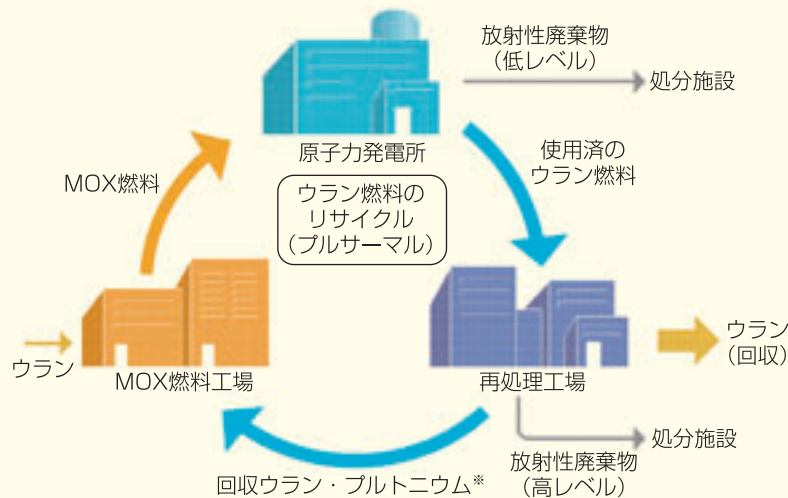
当社は本年6月に、志賀原子力発電所1号機での「ウラン燃料のリサイクル(プルサーマル)」計画を公表しました。

ウラン燃料のリサイクルとは、原子力発電所で使い終わったウラン燃料から、まだ使えるプルトニウムを回収し、ウラン・プルトニウム混合燃料(MOX燃料^{モックス}燃料といいます)として再び原子力発電所で利用することです。

資源の乏しい日本にとって、資源の有効利用やエネルギーの安定供給が重要です。

「ウラン燃料のリサイクル」は、回収したプルトニウムを利用することで限りあるウラン資源を有効利用することができ、エネルギーの安定供給にも貢献します。

今後とも志賀原子力発電所の安全確保を最優先に本計画を進めてまいります。



※青森県六ヶ所村の再処理工場で再処理する場合は核兵器に転用しにくくするため、プルトニウムは単体ではなく、ウランと混合した状態で回収します。

<当社の「ウラン燃料のリサイクル(プルサーマル)」計画概要>

- 志賀原子力発電所1号機で、2015年度までの実施を目指します。
- 全燃料集合体368体のうち最大60体のMOX燃料を使用します。
- 志賀原子力発電所の特別な設備の変更はありません。

現在、国(原子力安全・保安院)の安全審査を受けています。

低炭素社会の実現に向けた取組み

木質バイオマス混焼発電の導入拡大

当社は再生可能エネルギー導入拡大の一環として、敦賀火力発電所2号機(平成19年6月導入済み)に引き続き、七尾大田火力発電所2号機においても、製材所などで発生する樹皮や木屑などの木質バイオマスを受入れ、石炭と混合する設備の建設工事を進めてきました。各種確認試験および検査を終え、本年9月1日より木質バイオマス混焼発電を開始しました。

〈七尾大田火力発電所2号機 混焼発電の概要〉

木質バイオマス利用量	2万トン/年程度
バイオマス発電電力量	1,700万kWh/年程度
CO ₂ 削減量	1.4万トン-CO ₂ /年程度



七尾大田火力発電所の
木質バイオマス受入設備

河川維持放流水を活用した水力発電

当社は水資源の有効活用を図るため、現在発電に使用されていない河川維持放流水※の活用を進めています。福井県大野市で建設を進めている仏原ダム発電所(九頭竜川水系)は、本年11月、運転を開始する予定です。

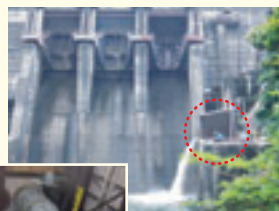
今後、有峰ダム発電所は平成23年度に、新猪谷ダム発電所は平成24年度に運転を開始する予定です。

(平成22年10月31日時点の情報をもとに記載しています。)

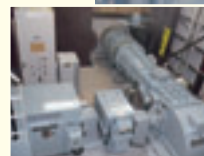
※河川維持放流水:河川環境の維持を目的としたダムからの放流水

〈仏原ダム発電所の概要〉

最大出力	210kW
発電電力量	170万kWh/年程度
CO ₂ 削減量	0.05万トン-CO ₂ /年程度



仏原ダム発電所
建設工事の状況



発電所内部

富山新港火力発電所におけるリプレース計画(LNG火力の導入)

当社は富山県射水市の富山新港火力発電所石炭1号機(25万kW)をリプレースし、エネルギーセキュリティ、環境特性、経済性などを総合的に評価した結果、LNG(液化天然ガス)を燃料とするコンバインドサイクル発電(LNG1号機:40万kW級)を導入することとしました。これにより、一層の電源多様化を図るとともに、更なるCO₂排出量削減により低炭素社会の実現に貢献するものと考えています。LNG1号機は平成30年度に運転を開始する予定です。



北陸電力グループの紹介

HG 北電技術コンサルタント株式会社

〒930-0858 富山県富山市牛島町13番15号
TEL(076)432-9936 FAX(076)432-4280
ホームページ <http://www.hg-c.co.jp/>

主な 事業内容

- 中小水力発電, 風力・太陽光発電の調査・設計などの『エネルギー関連事業』
- 通信鉄塔局の設計・監理, 道路・橋・トンネルの長寿命化と維持管理などの『ライフライン関連事業』
- 地盤調査・解析, 防災設計, 環境調査などの『防災・環境関連事業』
- 測量, 流量調査, 航空レーザー測量などの『測量関連事業』
- 介護福祉施設他の設計・監理, 建物耐震診断などの『建築・街づくり関連事業』…

HGC建築設計事務所

「建築・街づくり」は、私たち「HGC 建築設計事務所」にご相談ください。

「HGC建築設計事務所」は、北陸電力グループの建築設計事務所として、介護福祉施設、保育・幼稚園施設、マンション、事務所ビルなどを手がけています。

特に、エネルギー企業を母体として培った技術とノウハウで、CO₂削減などの地球環境や周辺環境への配慮はもちろん、省エネで低コスト、また、ご利用の皆さまに大きな安心と快適をもたらす施設づくりをお手伝いしています。

■ 事業主さまの施設づくりのニーズに相応しい「ソフト」と「ハード」のコーディネートが可能です

北陸でトップクラスを誇る有資格者在籍数
ニーズに相応しい人材が、効果的なご提案をいたします。

有資格者在籍数

一級建築士	18名	建築設備士	2名
構造設計一級建築士	5名	建築積算士	3名
設備設計一級建築士	1名	CASBEE建築評価員	1名
福祉住環境コーディネーター	2名		

■ 子どもやお年寄りに、そして環境にやさしい施設づくりに、数々の実績と信頼を活かします

時代を象徴し、先を見据えた施設コーディネート
オール電化や太陽光発電活用もご好評いただいています。

設計事例



水橋西部公民館・地区センター



水橋西部公民館 図書館分館



リフレ勝山



富山ライトレール(株)本社



湯〜とびあ山中



アーバンプレイス

■ 耐震調査・設計, 省エネルギー化への再構築も, 私たちが得意とする分野です

愛着ある既存施設の安全性を高め, 省コストで快適に。
そんなご要望にもスピーディーに対応いたします。

『HGC 建築設計事務所』
お問い合わせフリーダイヤル 0120-42-1428

すもぢいい〜
お70。

私にも、地球にも。

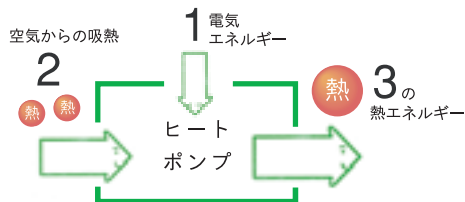


電化って、きっと、いい変化。

経済的で環境にやさしいのは、
ヒートポンプのおかげです。

エコキュートはヒートポンプシステムを使って空気の熱を取り込み、それを電気力で圧縮することで、使用する電気の3倍以上の熱エネルギーをつくり出す高効率な給湯器。だから使用する電気が少なく経済的で、しかもCO₂の排出を抑える環境にもやさしい給湯器です。

ヒートポンプのしくみ



※使用条件、気象条件等により能力は異なります。

省エネ給湯器
エコキュート



北陸の手仕事～創る人がいる～ 井波彫刻

1本の丸太を，一人の技で変幻自在に芸術へと高める



浄土真宗大谷派井波別院瑞泉寺^{ずいせんじ}の門前町である、富山県南砺市井波地区。この地で江戸時代中期より、神社・仏閣の彫刻技術を引き継いできた伝統工芸、井波彫刻をご紹介します。



さまざまな作品を展示している井波彫刻総合会館。欄間が連なる様は圧巻

加賀文化が息づく彫刻の町

井波彫刻の始まりは、約250年前。京都本願寺より御用彫刻師・前川三郎が瑞泉寺本堂再建のため派遣され、地元大工4人が彫刻の技法を本格的に習いました。

明治時代には、寺院欄間^{らんま}の技を駆使して住宅欄間を創出。全国各地の神社・仏閣の彫刻を手がける一方、一般住宅欄間、獅子頭など、意欲的にさまざまな分野へと進出していきます。

富山県や福井県などでは12月25日から翌年1月25日まで天神様を飾る風習があります。先祖は菅原道真という伝承も残る、前田家の影響が強いと言われる井波地区。ここでは秋、あちらこちらで彫刻師が天神様を彫る姿が町の風物詩になっています。



人物像は、体の中心に木の目がくるよう計算して彫っていく



刃の代わりにミシン針を柄に入れて彫るなど、彫刻師それぞれが創意工夫する



いたるところに彫刻が見られる八日町の道。奥には井波彫刻発祥の瑞泉寺がある



現存する旧井波駅舎横の電話ボックスには、駅舎の景観と合わせた彫刻が施されている

大胆さと緻密さは、技と感性ありき

まず最初に原木を丸太で購入し、半年から1年自然乾燥させます。仕上がりの木の目模様を考慮して木取りをし、下絵、荒落としの後、1か月ほど自然乾燥。荒彫りをしてから、彫刻を浮き上がらせる小彫り、最後に仕上げ彫りで滑らかにして完成となります。作業は基本的にひとりで行われるため、彫刻師には幅広い技術と見識の探求が必要とされます。



井波彫刻のギター「龍剣〜Dragon Sword〜」と、岩倉さん作のベース「Bird」。音楽誌にも紹介され、注目を集めた



小型のチェーンソーで角をとってから荒落とす



荒彫り。ノミには柄を守る頭金をはめてある



刃が薄く細いノミで小彫りしていく。集中力を要する



一皮むいたように薄く仕上げ彫りをして、完成

柔軟な姿勢で前を見据えて

住宅事情が変わり、近年は住宅欄間の需要が減少。「彫刻師それぞれが生き残る道を模索しなければ。しかし、神社・仏閣の仕事が減って住宅欄間が生まれたように、着々と歩を進めています」と、井波彫刻協同組合理事長の岩倉^{まさよし}雅美さん。2009年には井波彫刻を施したギターとベースを制作、マスコミにも取り上げられ、その名を広く知らしめました。岩倉さんは、「この伝統工芸を全国区にして、文化財の修理で技を社会に還元していきたい」と、次なる目標を力強く語ってくれました。



彫刻師たちが小学生に彫刻を教えることも。専門学校もあり、全国から日本屈指の技を学びにこの地に来ている

彫刻刀で遊んだ少年は、今も自然に木と向かい合う

現役の彫刻師でありながら組合理事長を務める岩倉さんに、作家としての想いを伺いました。



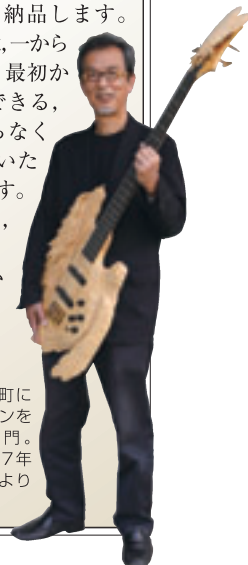
刃物が厚い荒削り用、薄い仕上げ用のノミを、細かく使い分けて制作していく

父も彫刻師だったので、物心ついた頃から自分も彫刻師になるものだと思って育ちました。小学生の時には、鉛筆削りのナイフとチョークで天神様を彫っていたそうです。

井波彫刻は、卸を通さずに直接お客様と取り引きするんです。だから、顔を合わせて打ち合わせして、ご要望通りに制作し、納品します。井波彫刻のモノづくりは、一から十まで自己責任。でも、最初から最後まで一貫してできる、そのプロセスがたまらなく楽しい。逆に感謝していただくこともしばしばです。お金をいただいて、「ありがとう」といってもらえる職業なんて、なかなかないと思いますよ。

いわくら まさよし りょうせん
岩倉 雅美(綾泉)さん

1952年岩倉勘宰の次男として井波町に生まれる。兵庫県でプロダクトデザインを2年学んだ後帰郷、勘宰工房に入門。1978年第10回日展初入選。1997年井波彫刻伝統工芸士認定、2008年より井波彫刻協同組合理事長に就任。



特別口座から証券会社の 口座への口座振替のご案内

平成21年1月に株券の電子化が実施され、その時点で証券会社を通じて証券保管振替機構(ほふり)に預けられていなかった当社株式は、当社が住友信託銀行に開設した特別口座で管理しています。

特別口座は証券会社の口座とは異なり、ご所有の株式をご家族等に譲渡したり、証券市場で売却したりすることができないため、譲渡や売却にあたっては、あらかじめ証券会社に株主さまご本人名義の口座を開設し、特別口座から証券会社の口座へ株式を振り替えておく必要があります。

①証券会社で口座開設

証券会社に口座を開設されていない株主さまは、証券会社に株主さまご本人名義の口座を開設。

※口座開設手続きの詳細については、証券会社へお問い合わせください。

②口座振替申請書の提出

「口座振替申請書」に必要事項をご記入・ご押印のうえ、住友信託銀行に提出。

※お手続きに必要な書類をご希望の株主さまは、住友信託銀行証券代行部にお申出ください。

③口座振替

特別口座から証券会社の口座へ株式を振替。

単元未満株式の買取請求・ 買増請求制度のご案内

単元未満株式(1～99株)は、証券市場での売買ができませんが、単元未満株式の買取請求・買増請求制度をご利用いただくことができます。

これらの請求にかかる手数料は無料*です。単元未満株式の整理に是非ご活用ください。

*証券会社の口座に単元未満株式をお持ちの株主さまは、証券会社等での手数料がかかる場合があります。

■単元未満株式の買取請求制度

株主さまのご請求により、100株未満の株式を当社が買い取らせていただく制度。

■単元未満株式の買増請求制度

株主さまのご請求により、ご所有の単元未満株式と合わせて1単元(100株)となるように、当社から単元未満株式をお買い増しいただく制度。

例 株主さまが単元未満株式30株ご所有の場合



口座振替、単元未満株式の買取・買増請求、配当金の口座振込等のお手続きのお問い合わせ先

<証券会社に口座を開設されている株主さま>

口座を開設された証券会社にお申出ください

<特別口座をお持ちの株主さま(証券会社に口座を開設されていない株主さま)>

住友信託銀行株式会社 証券代行部 **0120-176-417 (通話料無料)** にお申出ください

配当金の「口座振込」についてのご案内

～配当金のお受け取りには、安全・確実・便利な「口座振込」をおすすめいたします～

配当金のお受け取り方法を口座振込にされると、ご指定の口座にお振込いたしますので、お受け取りに出かけていただく必要がなく、また、お受け取り忘れの心配もありません。

口座振込には、下記の3つの方法がありますので、是非ご利用ください。

■個別銘柄指定方式

ご所有の銘柄ごとに、銀行等の預金口座をご指定いただき、配当金をお受け取りいただく方法

■登録配当金受領口座方式

ご所有の全銘柄の配当金を、1つの銀行等の預金口座で一括してお受け取りいただく方法

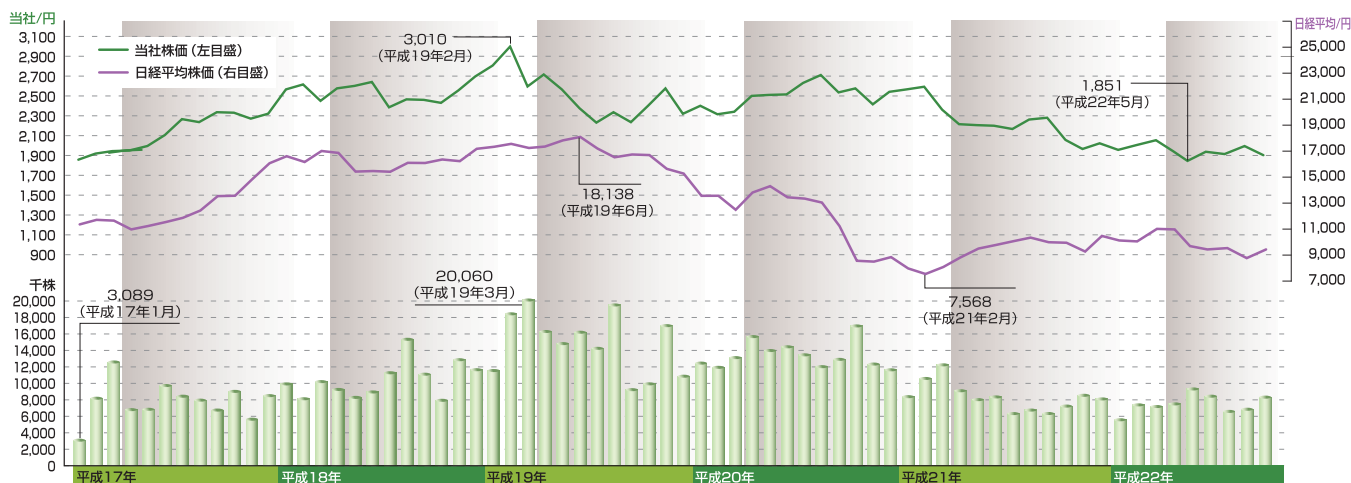
※ゆうちょ銀行の口座はご指定いただけません

■株式数比例配分方式

証券会社の口座にご所有の銘柄・株式数に応じた配当金を、その証券会社の口座でお受け取りいただく方法

※株主さまがご所有の全銘柄の配当金をこの方法でお受け取りいただけます。この方法は、特別口座をお持ちの場合はご利用になれません

■当社株価（月末終値）および出来高の推移



株主information

会社概要

(平成22年9月30日現在)

■設立年月日	昭和26年5月1日
■資本金	1,176億4,154万9,080円
■発行可能株式総数	4億株
■発行済株式総数	2億2,033万3,694株
■販売区域	富山県、石川県、福井県(一部を除く)、岐阜県の一部
■従業員数	4,477名(出向者等を除く)
■供給設備	
○発電所	
水力	126か所 出力/190.3万kW
火力	6か所 出力/440.0万kW
原子力	1か所 出力/174.6万kW*
計	133か所 出力/804.9万kW
※志賀2号機において、整流板を設置して運転の場合	
○送電線	電線路こう長 3,309km
○変電所	198か所 出力/2,865万kVA
○配電線	電線延長 12万1,011km

■主要事業所	
本店	富山市牛島町15番1号
地域共生本部	金沢市下本多町六番丁11番地
原子力本部	石川県羽咋郡志賀町高浜町二13番地21
富山支店	富山市牛島町13番15号
高岡支社	高岡市広小路7番15号
魚津支社	魚津市新金屋一丁目12番12号
石川支店	金沢市下本多町六番丁11番地
七尾支社	七尾市三島町61の7
小松支社	小松市栄町25の1
福井支店	福井市日之出一丁目4番1号
丹南支社	越前市新町10字東野末1の6
東京支社	東京都港区虎ノ門二丁目8番1号 虎の門電気ビルディング6階

役員

(平成22年9月30日現在)

取締役会長	永原 功	常勤監査役	高桑 幸一
取締役社長	久和 進	常勤監査役	坂本 善成
取締役副社長	松岡 幸雄	監査役	犬島伸一郎
取締役副社長	堀 祐一	監査役	深山 彬
取締役副社長	本林 敏功	監査役	川田 達男
常務取締役	村田 幸平		
常務取締役	若宮 真自		
常務取締役	荒井 行雄		
常務取締役	三鍋 光昭		
常務取締役	金井 豊		
常務取締役	近谷 雅人		

株主メモ

●事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
●定時株主総会	6月
●配当金の 受領株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
●単元株式数	100株
●証券コード	9505
●公告方法	電子公告により、当社のホームページに掲載して行います。 (http://www.rikuden.co.jp/)

●株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関 【郵便物ご送付先】	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
【お問い合わせ先】	 0120-176-417
【ホームページ】	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

株式に関する住所変更等のお届出およびお問い合わせ先について

- <証券会社に口座を開設されている株主さま>
口座を開設した証券会社にお申出ください
- <特別口座をお持ちの株主さま(証券会社に口座を開設されていない株主さま)>
住友信託銀行 証券代行部 (0120-176-417) にお申出ください



〒930-8686 富山市牛島町15番1号
電話 076-441-2511(代表)
<http://www.rikuden.co.jp>
発行/総務部株式チーム 平成22年11月



アロマフリー型大豆油インキを使用しています。